

すし 鮭たかはし



☎6324-0992 和泉本町4-10-9 営業＝午前11時30分～午後2時30分/5時30分～10時、水曜休み(年始は5日夜から)

東京慈恵会医科大学附属第三病院近くにある「鮭たかはし」は、ていねいな下ごしらえと握りの技で新鮮な旬の魚介類のうまさを引き出すすし店。

店主の高橋清隆さん(43)が江戸前のおいしいすしを味わってもらおうと平成24年に開店。夜のメニュー(はにぎり)コース(10貫)が、さざ波(2,000円・以下税込み)、潮騒(3,000円)、極(4,000円)。にぎりセット(3貫)が、あぶりづ

旬のネタのうまさ引き出す握りの技



くし(950円)、貝づくし(950円)、光りものづくし(650円)で、このほかに40種以上のにぎりや巻物がある。

一品料理は刺身の盛り合わせ(1人前3点盛り1,500円)などの定番に加え、日替わりで旬の料理を提供。この時期はあんきも(680円)、さくらえび入り卵焼き(580円)などが人気。

ネタは川崎中央卸売市場北部市場に毎朝出かけて自ら選んだ魚介類を使い、素材に合わせて丹念に下ごしらえをする。

札幌出身の高橋さんは20代半ばで料理の道を志した。さまざまな料理を経験したが、「すしは日本の食文化の代表的な存在」と考え、すし職人をめざして30歳で上京し、調布市に住んだ。都内のすし店やかっぱうなどで腕をみがいて独立、その際、狛江市になじみがあったため、現在の場所を選んだという。落ち着いた雰囲気の内はカウンターのみ12席で、高橋さんひとりで対応できる客席数におさえたという。高橋さんは「平日は手頃なランチもありますので、気軽に来店してください」と話している。



14日に狛江郷土カルタ大会

狛江の歴史や自然などを絵手紙の技法で表現した「狛江郷土カルタ」を使ったカルタ大会が14日(日)午前10時～午後2時にむいから民家園で開かれる。対象は小学3年生以上で、個人戦と、3人1組の団体戦を行う予定。郷土カルタ作成は3年度をかけた行っている事業で、平成27年度に読み

句を募集して44句を決め、28年度には「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会(曾根嘉七委員長)の委員8人が絵札をかいでカルタを制作した。29年度はカルタの普及に取り組みしており、郷土学習の資料として市内の小・中学校などに配布したほか、社会教育課文化財担当が昨年11月に小・中学生を対象とした「郷土カルタでオリエンテーリング」を催した。クジに書かれたカルタの句を見て、絵札にかか



むいから民家園でカルタ取り

謹んで新春のお慶びを申し上げます 平成30年元旦

<p>有限会社 K-i-c-o-m 代表取締役 水谷 建夫 狛江市和泉本町1-35-13 03(34330)6617</p>	<p>山不動産株式会社 代表取締役 松崎 学 狛江市和泉1-11-13 03(3480)5551</p>	<p>イエステーション 代表取締役 藤田 克彦 狛江市和泉本町1-2-18 0120(13)2103</p>	<p>株式会社 和泉園 代表取締役社長 白井 真一 狛江市和泉3-2-15 03(3489)0165</p>	<p>トーケン株式会社 代表取締役 久慈 俊一 狛江市岩戸北1-7-19 03(3480)1001</p>	<p>株式会社 東建ハウジング 代表取締役 久慈 正己 狛江市岩戸北1-7-19 03(3480)1001</p>
--	--	--	--	---	---



1月の狛江野菜 コマツナ

東京風の雑煮でなじみ深いコマツナは、寒暖に強く年間を通じて栽培されるが、旬は冬。江戸時代初めに作出され、おひたし、鍋料理などさまざまな料理に使われてきた。

市内では多くの農家が栽培。種をまいた時季によって栽培期間が変わり、冬季は100日程度、夏季は30日程度を要する。

葉の緑が濃く、厚みがあるものが良い。乾燥しないよう新聞紙などでくるんで保存すると良い。

三角武久さん 56歳(岩戸北)



季節の野菜とミカンなどの柑橘類、柿などの果樹を含め約100種を栽培。端境期を作らないよう心がけ、保育園、小学校、中学校へ食材を提供するほか農協、スーパーに出荷、直売も行う。

春はエダマメ、ジャガイモ、夏はトマト、ナス、秋・冬はスティックセニョールに加え、ハウスで無農薬のレタスを栽培する。また、災害時に避難場所になる防災協力農地として市に登録している。

29年から長男が勤めを辞め農業を手伝っている。乾燥機を導入し切り干し大根、ドライトマトなど加工品を生産、作物のロスをなくす努力をしている。

狛江GAP研究会会員の横顔

谷田部英雄さん 68歳(東和泉)



年間約30種の野菜とギンナン、みかん、ユズ、ブルーベリーなどの果樹を栽培、週2~4回直売する。

春はタマネギ、夏はトマト、ナス、キュウリ、秋・冬は白菜、ブロッコリー、キャベツ、チンゲンサイ、ネギのほか、数種の大根を栽培。昨年からは葉物に力を入れており、種まき機やネギ管理機などの機械を導入し、収穫のしやすさと品質の安定、省力化をはかっている。農薬を減らし、おいしい野菜を栽培するために牛フン、ミックス堆肥などを使った土作りにも力を入れており、直売のときは開始前から行列ができるほどだという。



14日に多摩川緑地公園グランドで初春まつり

新しい年を祝う「こまえ初春まつり」が14日(日)に多摩川緑地公園グランドで開催される。

当日は、狛江市消防団出初式(午前10時30分開式)、第48回狛江多摩川ロードレース大会(8時45分開会式)、どんど焼(10時点火)に加え、福祉団体の飲食販売ブースでひかり作業所がスープぎょうざを1杯100円で提供する。また、小田急電鉄・小田急バス、オリンピック・パラリンピック、狛江市観光協会、安丸グッズ販売、防災展示の各ブースが開設さ



昨年のどんど焼き

れるほか、はしご車体験乗車(10時整理券配布、先着15組)、ポンプ車体験乗車(10時45分~11時45分)が行われ、親子で楽しめる狛江の冬の風物詩として人気を集めそうだ。

問い合わせ☎3430-1111 狛江市秘書広報室。

「わっこ」と「こまなび電子版」アンケートを実施

狛江市民活動・生活情報誌『わっこ』と、生涯学習サイト『こまなび電子版』についてのアンケートを1月4日(日)~2月2日(日)に実施します。

『わっこ』と『こまなび電子版』をさらに充実させることを目的に、内容などについての意見や要望、アイデアなどを募集します。南部、岩戸、野川、上和泉の各地域センターと市役所2階地域活性課窓口でアンケート用紙の配布と回収を行います。

問い合わせ☎3430-1111 狛江市市民生活部地域活性課。